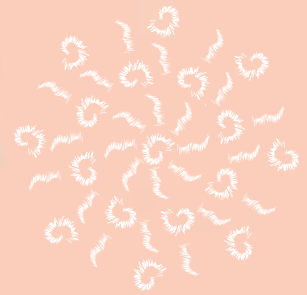
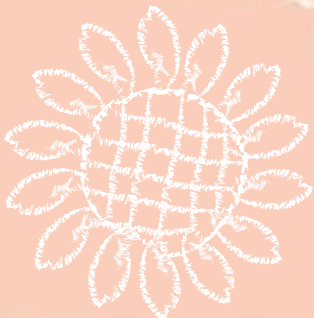
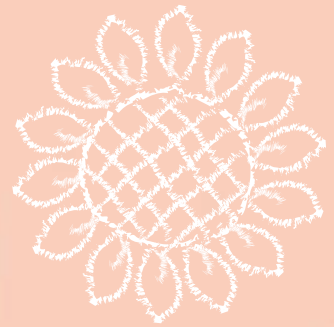
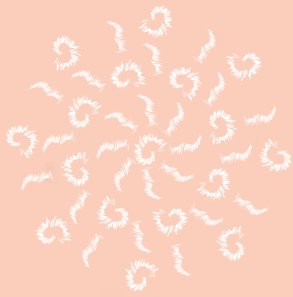


公益社団法人岐阜病院 広報誌

# まごころ

『まごころ』は、公益社団法人岐阜病院の広報誌です。



第 11 号

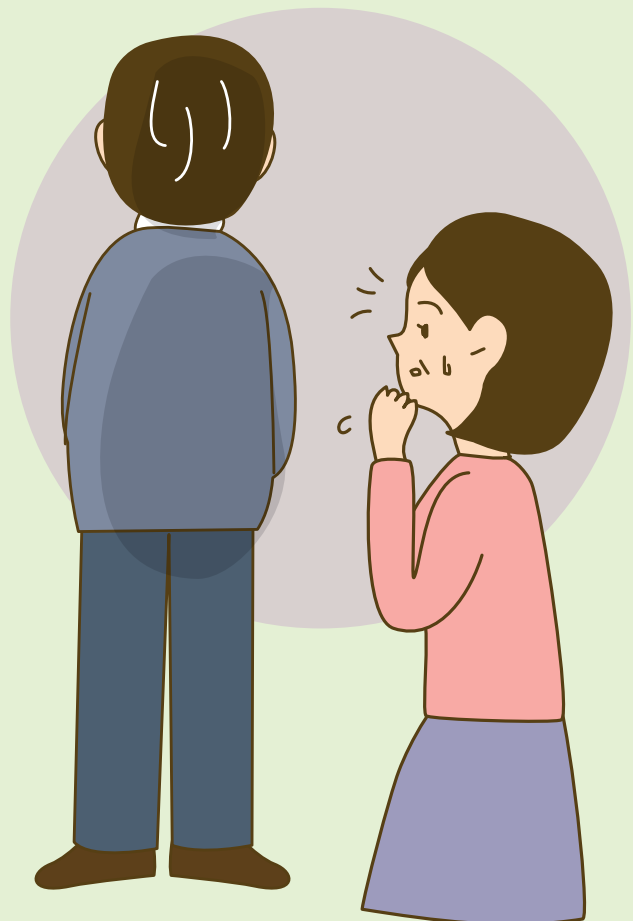
# こころの病気も早めの 対処が大切です

こころの病気も体の病気と同じように、早期発見、早期対処が大切です。早めに適切な治療や社会的サポートを受けると、回復しやすいことがわかっています。

ストレスを受けて気持ちが落ちこんだり、イライラしたりするのは誰にでもあることです。つらいとき、体調がすぐれないときに眠れなかったり、食欲がなくなったりすることもあるでしょう。こうした症状があるからといって、こころの病気とは必ずしも言えません。

しかし、特に理由もないのに気持ちが不安定になるなど、こころの不調が長く続く場合は早めに専門機関に相談することをお勧めします。

また、こころの病気は、自分では症状に気づきにくいのも大きな特徴です。皆さんの周囲に、以前と比べて様子が異なっている方はいませんか。気になる症状が長く続いたり、生活面での支障が出てきている場合には、早めに専門機関に相談するよう勧めてください。



# 気になる症状が長く続くときは、 専門機関に相談しましょう!

気分が沈む……ゆううつ  
何をするのにも元気が出ない

周りに誰もいないのに、  
人の声が聞こえてくる

イライラする、怒りっぽい

誰かが自分の悪口を言っている…

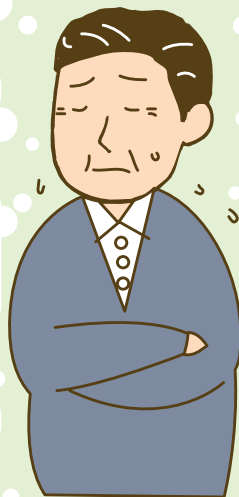
理由もないのに、  
気持ちが落ち着かない、  
不安な気持ちになる

何も食べたくない、食欲がない

胸がドキドキする、息苦しい

なかなか寝付けない、  
熟睡できない  
夜中に何度も目が覚める

何度も確かめないと気がすまない…



岐阜病院はこころの病気に悩んでおられる方々に最善の医療を提供します。

## 新人紹介



医局  
平野医師

三重大学、市立四日市病院での研修、名古屋市立大学病院、海南病院を経て岐阜病院でお世話になることになりました。若輩ですがよろしくお願い致します。

看護部  
鷺見看護師

昨年一年間、一般病院の経験を経て、4月から当院に就職しました。退院支援に興味があり、精神科看護の勉強と共に学んでいきたいと思っています。

作業療法科  
加藤作業療法士

皆様と一緒に“自分らしい生活”を目指し、試行錯誤を重ねていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

# 作業療法科

作業療法とは作業活動を介して、不用意に侵入しないよう適度な心理的距離を保ちつつ間接的に患者さまと関わってゆく専門療法の一つです。英語でOccupational(作業、職能)Therapy(療法)といい、日本では頭文字をとってOTとも呼ばれています。

当院のOTでは毛糸編みや刺繍等の手工芸的な活動や、歌を歌ったり楽器を弾いたりするなどし、少しずつ生活のリズムを取り戻し、楽しむ経験、楽しめることの発見、達成することの喜びなどの基本的な機能の回復を行っています。また、レクリエーションなどによって、楽しみながら基礎体力の回復等も行ってゆきます。急がない(急がせない)、無理をしない(させない)ことを念頭にゆっくりとしたペースで作業療法を行っています。

夏祭りなどの病院行事にはOTで患者さまが作製した色々な作品が展示、販売されますのでその際は見学、購入などよろしくお願ひいたします。



## 禁煙についてのお願い

ご自身の健康管理や周りの方々の健康管理に配慮して、**平成26年4月1日**より全館「**全面禁煙**」となります。

### 名鉄岐阜駅からお越しの場合

#### ●岐阜バスターミナル Dのりば乗車

大洞団地線・岐阜関線 19分「日野橋」下車 徒歩10分

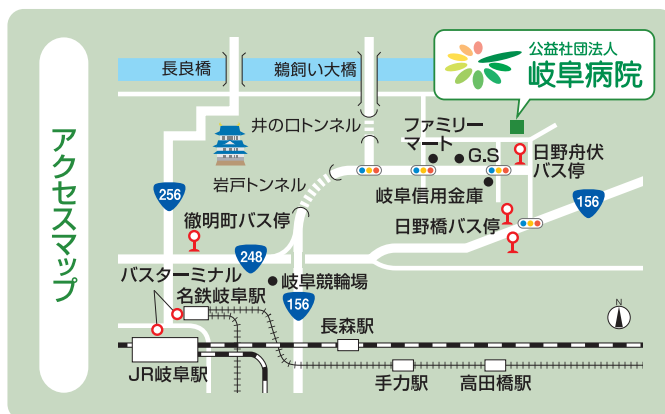
日野市橋線(日野西行) 21分「日野舟伏」下車 徒歩5分

### JR岐阜駅からお越しの場合

#### ●JR岐阜駅 14番のりば乗車

大洞団地線・岐阜関線 17分「日野橋」下車 徒歩10分

日野市橋線(日野西行) 19分「日野舟伏」下車 徒歩5分



### 外来担当表

	月	火	水	木	金
一 診	淡路	山村	安楽	淡路	鈴木院長
二 診	大田	石井	吉田	須磨	安楽
三 診	初診	初診	初診	初診	初診
四 診	渡邊	勝	南谷	田中(耐)	勝
五 診	平野	吉田	渡邊	山本	柳澤
六 診	田中(耐)	須磨	柳澤	深尾(希)	山田

・初診の予約が可能になりました。お電話でお問い合わせください。

## 公益社団法人 岐阜病院 広報誌まごころ

平成25年8月1日発行

〒500-8211

岐阜県岐阜市日野東3丁目13番6号

☎058-245-8171

FAX 058-246-6824

<http://www.shadan-gifu.or.jp>

## 編集後記

当院広報誌「まごころ」をいつもご拝読いただき誠に有難うございます。今回の11号から編集後記を掲載することになりました。

一人でも多くの方々に、誠心誠意ご満足いただける広報活動であり続けたいと願っております。真心を込めた紙面になるような広報誌「まごころ」を発刊できるよう微力を尽くしてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

広報委員会